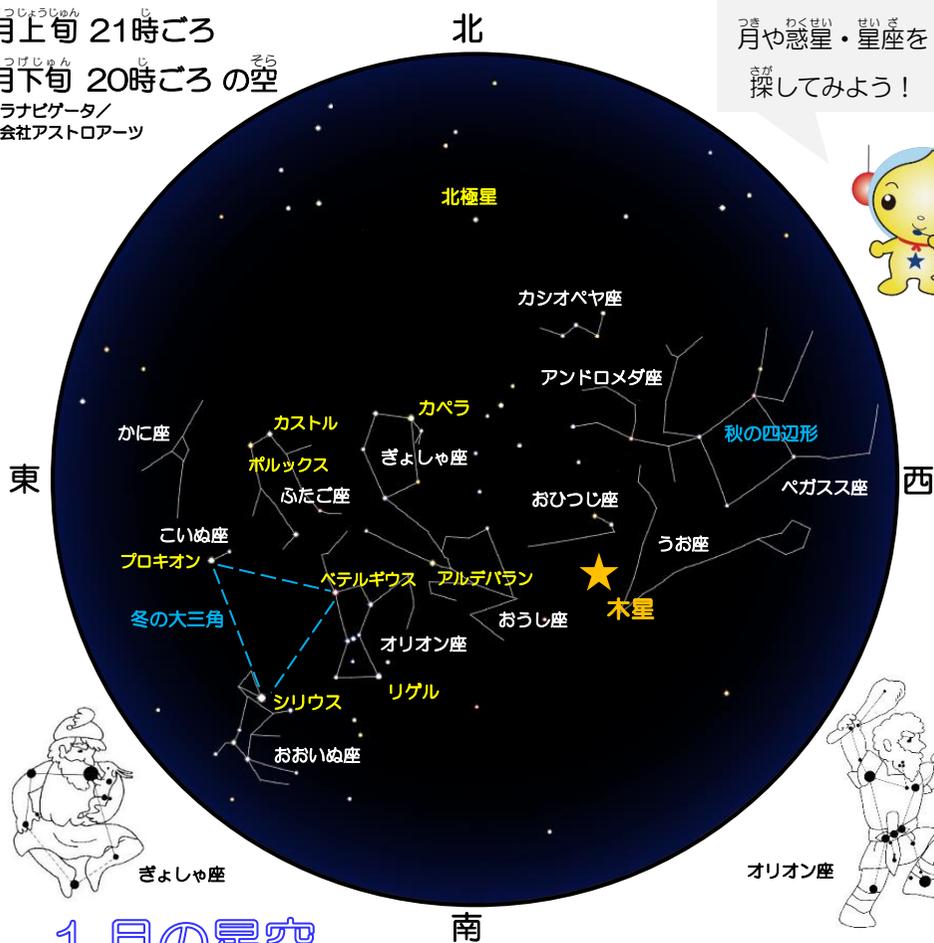


2024年 月刊 星空の散歩道 1月号

1月上旬 21時ごろ
1月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ



つぎや 惑星・星座を 探してみよう!



1月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、南と東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > ペガサス座、アンドロメダ座
- < 天頂 > おうし座 (アルデバラン)、ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 南 > オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)、おおいて座 (シリウス)
- < 東 > ふたご座 (カストル、ポルックス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

1月4日 しぶんぎ座流星群
三大流星群のひとつ。ピークは4日18時頃、見頃は4日の夜から5日の明け方と予想されていますが、条件はあまりよくありません。

1月14日 月と土星が並ぶ
月の近くに土星が見えます。土星はそろそろ見納めです。

1月18~19日 月と木星が並ぶ
明るい木星が月と並んで見えます。

☆月の形の変化☆

1月4日	下弦	
1月11日	新月	
1月18日	上弦	
1月26日	満月	

☆1月の惑星☆

金星	明け方、南東の空
木星	日没後、南の空
土星	日没後、南西の空

<天文コラム> 月面着陸を目指す「SLIM」

地球から38万km彼方の月を目指して、日本の小型月面着陸機SLIM (Smart Lander for Investigating Moon) が現在飛行を続けています。

これまでの月探査機は、月面の着陸目標地点から誤差、数kmから十数kmと大雑把な範囲での着陸でした。しかし、SLIMは月の狙った地点へ誤差100mの範囲で降りることを目指しています。搭載したカメラの画像をもとにSLIM自身が自律的に判断して目標地点に近づきます。

将来の月惑星探査に必要なピンポイント着陸技術を研究し、それを小型探査機で月面にて実証することで、今までの「降りやすいところに降りる」着陸ではなく、「降りたいところに降りる」着陸へと転換を果たすこととなります。これを実現することで、他の惑星への着陸も現実のものとなってくるのです。

2023年9月7日に打ち上げられたSLIMは、12月25日に月周回軌道に投入されます。その後、早ければ2024年1月20日午前0時に月面着陸に挑戦する予定です。成功すれば日本初! 旧ソ連、アメリカ、中国、インドに次ぐ5か国目となります。これからSLIMの活躍に注目していきましょう。

